

令和8年度 学校経営方針

練馬区立三原台中学校
校長 中井 広志

I 本校の教育目標 【「徳・知・体」をバランスよく身に付けた人間の育成】

- 1 思いやりの心をもち 他と共に生きる人
- 2 心身を鍛え たくましく生きぬく人
- 3 知性を磨き 個性を生かす人

II 目指す学校像 【厚い信頼関係で結ばれた学校】

- 1 生徒と生徒、生徒と教職員、学校と家庭・地域の間に厚い信頼がある学校
- 2 生徒にとって安全で安心できる学校
- 3 規範意識を育て、心豊かな人間関係の中で、人権を守る学校
- 4 学ぶ意欲を高めるために、生徒の学習力と教師の指導力を高める学校

III 目指す生徒像 【時を守り 場を清め 礼を正す三原台中生】

- 1 主体的に学び、調べ、仲間と協働でその学びを生かした豊かな表現のできる生徒
- 2 自他の生命や人権を大切に、互いに認め合いながら思いやりある言葉と心を込めた挨拶ができる生徒
- 3 規範意識をもち、学校生活・社会生活のきまり・マナーの意義等の社会性を理解して実践する生徒
- 4 心身ともに健康で体力向上に努め、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒

IV 目指す教職員像 【教育者としての使命を全うする教職員】

- 1 教育者としての責任感と誇りをもち、服務事故を絶対に起こさない教職員
- 2 高い倫理観と社会的常識をもち、生徒の模範となる教職員
- 3 教育に対する熱意と生徒への深い愛情をもち、生徒の良さや可能性を引き出し伸ばすことができる教職員
- 4 協働して組織的な指導体制を構築することができる教職員
- 5 時代の変化に対応し、常に学び続け、互いに高め合う教職員

V 今年度の重点目標と具体的方策

1 学習指導 ～各教科における基礎・基本の定着、学力の向上、主体的・対話的な学びの実践～

(1) 教科指導

- ① 「ねらい」の明示と「振り返り」を意識した授業を行うことで、学力向上を図る。
- ② 「分かる」「できた」を実感させ「さらに知りたい」と向上心を引き出す指導の工夫と改善に努める。
- ③ 夏季休業中の補充教室や定期考査前の質問教室を行うなど、基礎学力の定着と向上を目指す。
- ④ 生徒自らが1人1台端末を活用し、自律した学習を行うことができるようにする。
また、不登校や別室登校などの事情がある生徒から希望があった場合、オンライン授業を実施する。

(2) 特別の教科 道徳

- ① 主体的・対話的な学習活動を通して、生徒の道徳性の向上に深く迫る授業を実践する。
- ② 人権教育プログラム等を活用した命の尊厳、人権にかかわる授業を計画的に行う。

(3) 総合的な学習の時間・特別活動・その他

- ① 発表等で自ら発信する力を育む指導の充実を図る。
- ② 学級活動、生徒会活動及び学校行事において、生徒自らが健康・体力の向上に向けて自律的に学校生活を送る力を育む。
- ③ 部活動は、全教員が部活動の顧問を担当して指導に当たり、部活動ガイドラインに則り運営する。

2 生活指導・進路指導

(1) 生活指導 ～「誰一人取り残さない」の精神を共有し、スピードとチームワークを大事にする指導～

- ① 保護者との信頼関係を保つことに努め、生徒に寄り添う指導を行っていく。（連続3日欠席者への対応と7日以上欠席した生徒の家庭訪問）
- ② いじめアンケートを毎月実施し、いじめや問題行動の未然防止及び早期発見・早期解決のための情報の収集及び共有と迅速な対応を行う。
- ③ 不登校生徒や別室指導の必要がある生徒に、校内別室登校指導支援員や不登校対応巡回教員、関係諸機関と協力・連携し、学習計画を立案し実践する。

(2) 進路指導・キャリア教育 ～義務教育後期3年間を見通した計画的・系統的な進路指導～

- ① 職場体験等各種の体験学習を活用した望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の充実を図る。
- ② 地域の人材や関係諸機関を活用しながら、多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させる。

3 特別支援教育の充実 ～自尊感情や自己肯定感を高める指導を関連づけた教育活動の推進～

- (1) 特別支援教室の効果的な活用により、生徒の学校生活の安定と学びに向かう力の育成を図る。
- (2) 特別に配慮を要する生徒について、保護者との合意の下、特別支援委員会を中心として全教職員の共通理解を図り、適切な合理的配慮を実践する。